

## 2. 我孫子市における文化、交流とは

本市は、手賀沼と利根川に挟まれ、首都近郊にありながら、心安らぐ水辺と豊かな緑の自然を保持し、古墳などの歴史的、文化的遺産にも恵まれたまちです。

大正期には、四季の織りなす風光明媚な手賀沼の景観が多くの文化人を魅了し、国内外の文化史上に特筆すべき様々な活動を産み出す舞台を提供してきました。また、先人たちが培ってきた歴史や風土、文化や芸術、文化財が継承されています。それらは、現在でも身近な住環境のなかに見い出すことができ、市民にとってかけがえのない財産となっています。

市内では、市民の自主的な文化芸術活動や、地域に伝えられてきた郷土芸能などの保存継承活動が盛んに行われています。

市は、こうした市民や団体の活動の充実のため、共催・後援事業の充実を図るとともに、新たな文化芸術活動が創出されるよう、国や県から提供される文化芸術情報を提供し、活動を積極的に支援しています。

本市における文化とは、市民や団体が文化芸術活動を展開することにより、人々の感性を磨き、創造性を高め、柔軟で活力ある地域社会を実現させるよう、また、人々の何気ない無意識の日常に反映し、人々を文化芸術の担い手、創造の主演へと導き、そこに、我孫子の資源である自然や風土を生かし、我孫子の魅力を市内外に発信しながら次の世代に継承していくことです。

文化交流拠点施設は、こうした本市の文化を育むため、市民や団体による文化芸術活動を支える中心的な場所になると考えています。

さらに、市は、地域の魅力を活かして地域の活性化に取り組み、交流人口の拡大を図っています。特に、市にとって最大の地域資源である手賀沼は、水辺やその周辺の緑地、農地などを一体的に活かした、にぎわいの創出を目指す場としています。

このような中、文化交流拠点施設は、文化芸術に携わる人以外にも、多くの人々が訪れ、さまざまな分野の人が出会うことで交流が生まれる場所となることが期待されます。

これらのことから、文化交流拠点施設は、文化芸術活動を軸にして多様な交流を促進し、にぎわいの創出を目指して、整備するものとします。